製品安全データシート

硝　酸　銀

作成日付：2007/05/21
改訂日付：2014/09/01

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：	硝酸銀(Ⅰ)
会社名：	東洋化学工業株式会社
住所：	東京都狛江市中和泉2-26-13
電話番号：	03-3489-5152
FAX番号：	03-3488-1706
緊急連絡先：	同上
推奨用途及び使用上の制限：	銀メッキ、銀粉、抗菌剤、鏡、分析用試薬、触媒

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	区分外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性/酸化性ガス類	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	区分2
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性･刺激性	区分1A-1C
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(血液系)
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(肺、腎臓、心血管系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：

火災助長のおそれ：酸化性物質
飲み込むと有害
重篤な眼の損傷
重篤な皮膚の薬傷
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器(血液系)の障害、呼吸器への刺激のおそれ
長期または反復暴露による臓器(肺、腎臓、血管系)の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意事項を読み､理解するまで取扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
可燃物及び禁忌物質との混合を回避するために予防策を取ること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
眼、皮膚、又は衣類に付けないこと。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【救急処置】
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ、取除くこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
ばく露、又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合、口をすすぎ直ちに医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合：ただちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
漏出物は回収すること。

【保管】
施錠して保管すること。
可燃物､その他の禁忌物質から離して保管すること。

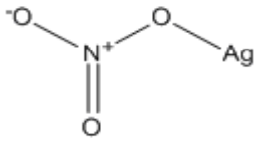
【廃棄】
内容物や容器を廃棄する場合は､専門の廃棄物処理業者に委託すること。

---

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名：	硝酸銀(Ⅰ)　　Silver nitrate
分子式（分子量）：	$AgNO_3$（169.87）
化学特性(化学式又は構造式)：	Silver nitrate



ＣＡＳ番号：	7761-88-8
官報公示整理番号（化審法・安衛法）：	1-8
分類に寄与する不純物及び安定化添加物：	データなし
濃度又は濃度範囲：	99.9%以上

---

4. 応急措置

吸入した場合：	鼻、のど、気管支の粘膜を刺激し、薬火傷をおこす。 鼻をかみ、うがいをする。必要な場合は医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：	皮膚を刺激し、腐食する。多量の水で洗浄する。 腐食がひどい場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合：	異物感を与え､粘膜を刺激する。 希食塩水と多量の水で洗浄した後 、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	多量のぬるま湯、微温食塩水、牛乳、卵白等を飲ませ、吐出させた後、医師の手当てを受ける
予想される急性症状及び遅発性症状：	眼の痛み、重度の薬火傷
最も重要な兆候及び症状：	情報なし
応急措置をする者の保護：	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項：	情報なし

---

5. 火災時の措置

消火剤：	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤（水素化炭酸塩を除く）、乾燥砂類
特有の危険有害性：	火災助長のおそれがある。 強熱すると有害ガス（NOx）を発生するので、消火作業の際には保護具を着用する。

使ってはならない消火剤	炭酸ガス、水素化炭酸塩の粉末消火剤
特有の消火方法：	周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移動する。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護：	消火活動は風上から行い、有害なガスなどの吸入を避ける。 状況に応じて呼吸保護具を着用する。 防災活動に無関係な全ての人々を風上に遠ざける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。 作業時には飛沫の付着、粉塵、ガスなどを吸入しないよう保護具を着用し、風上から作業する。 全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項：	製品、及び未処理の濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。
回収、中和：	飛散したものは容器に回収し､そのあとを食塩水などで塩化銀とし銀回収を行い、多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策：	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意・取扱い

取扱い

技術的対策：	火気厳禁。衝撃、高温を避ける。可燃物、有機物、還元性物質などとの接触に注意。
局所排気・全体換気：	局所排気、全体換気装置のある場所で取扱うことが望ましい。
安全取扱い注意事項：	すべての安全注意事項を読み､理解するまで取扱わないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 粉じん、フューム、ミストを吸入しないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 意図的な使用でない場合、環境への放出を避けること。

保管

技術的対策：	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
保管条件：	加熱、衝撃、摩擦、及び可燃物、還元性物質、強酸化性物質との接触をさけて保管。 食品との同時保管を避ける。 飛散、漏れ、流出、床への浸透、盗難等を防止して保管。
混触危険物質：	加熱、還元性物質、酸化性物質との接触を避けて保管。

容器包装材料： 気密容器（ガラス、ポリエチレン、ステンレスなど）

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： データなし

許容濃度：

日本産業衛生学会(2007) 0.01mg/m^3（Agとして）

ACGIH（2007年版） TWA 0.1mg/m^3（Agとして）
TWA 0.01mg/m^3（水溶性Agとして）

設備対策： 取扱い作業場には、局所排気装置、洗眼･手洗いの設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具： 防毒マスク（火災時：空気呼吸器）、防塵マスク

手の保護具： 保護手袋を着用すること。（ゴム手袋等）

眼の保護具： 眼の保護具を着用すること。（ゴーグル型等）

皮膚及び身体の保護具： 顔面用の保護具、衣類および防護靴等を着用すること。(保護衣、保護長ぐつ等)

衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

---

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 無色～白色の結晶性粉末
臭い： 微酸臭
pH： 水溶液は、弱酸性
融点・凝固点： 212℃(融点)
沸点､初留点および沸騰範囲： データなし
引火点： データなし
爆発範囲： データなし
蒸気圧： データなし
蒸気密度(空気=1)： データなし
比重（密度）： d^{19} 4.35
溶解度： 水20℃ 215.7 g/100ml
エタノール15℃ 3.8 g/100g
アセトン15℃ 0.35 g/100g
オクタノール/水分配係数： データなし
自然発火温度： データなし
分解温度： 444℃で分解
臭いのしきい(閾)値： データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)： データなし
燃焼性(固体､ガス)： データなし
粘度： データなし

---

10. 安定性及び反応性

安定性：　他の物質を酸化させる性質を有し、可燃物と混合すると熱/衝撃/摩擦等によって分解し、激しい燃焼を起こさせる。
痕跡の有機物が存在すると、光によって銀を遊離し変色する。

危険有害反応可能性：　酸化剤であり､可燃性物質や還元性物質と反応する。

避けるべき条件：　光、熱

混触危険物質：　可燃性物質､還元性物質

危険有害な分解生成物：　銀、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：　経口致死量　10ｇ
マウス経口　LD50　50mg/kg
ラット経口　LD50　1,173mg/kg
マウス腹腔内　LD50　17mg/kg
ラット腹腔内　LD50　83mg/kg

皮膚腐食性・刺激性：　軽度の皮膚刺激。皮膚刺激　ウサギ 500mg/24hr mild

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：　目刺激　ウサギ　10mg強度

呼吸器感作性又は皮膚感作性：　データなし

生殖細胞変異原性：　データなし

発がん性：　データなし

生殖毒性：　データなし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：　データなし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：　長期または反復暴露による臓器(皮膚、呼吸器)の障害の恐れ。

吸引性呼吸器有害性：　データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：　水圏環境生物に対する毒性があり、生態系への影響がある。

残留性・分解性：　データなし

生体蓄積性：　データなし

13. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：　還元焙焼法又は酸化沈殿法を用いて銀を回収する。
焼却の際にNOx成分を含有するガスが発生するので洗浄装置のない焼却炉等で焼却しない。（専門業者に委託することが望ましい。）

汚染容器及び包装：　容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う
UN No.：	1493
Proper Shipping Name：	Silver nitrate
Class：	5.1
Sub Risk：	
Packing Group：	Ⅱ
Marine Pollutant：	

国内規制

陸上規制情報	毒物劇物取締法、消防法の規定に従う
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
国連番号：	1493
品名：	硝酸銀
クラス：	5.1
副次危険：	
容器等級：	Ⅱ

特別の安全対策　輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。移送時にイエローカードの保持が必要。

緊急時応急措置指針番号　140

15. 適用法令

消防法：　危険物第一類　硝酸塩類　第三種酸化性固体（指定数量 1,000kg ）

毒物劇物取締法：　医薬用外劇物

労働安全衛生法：　危険物（酸化性の物）
通知対象物質（57条の2、政令第18条の2 別表第9 137）

薬事法：　劇薬，指定医薬品

PRTR法：　第一種指定化学物質（別表第1－82）

港則法：　危険物（酸化性物質）

航空法：	酸化性物質（等級２）
危規則：	酸化性物質（等級２）

---

16. その他の情報

引用文献：

試薬ガイドブック（改訂 2003）
毒劇物基準関係通知集（改訂増補版 1991）
化学大辞典 （1987第30刷 共立出版）
貴金属元素の化学と応用（1984 講談社）
危険物の保安管理（第４版（財)全国危険物安全協会）
12996の化学商品（1996 化学工業日報社）
化審法化学物質（通産省）
化学品法令集(1992 化学工業日報社)
RTECS(2008)
日本産業衛生学会誌(2007)
GHS分類結果データベース 製品評価技術基盤機構ホームページ
GHSモデルMSDS情報 中央労働災害防止協会ホームページ

※注意：

危険、有害性の評価は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではないので、取扱いには注意してください。

また、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。